

事業所名

児童発達支援センター ねむのき

支援プログラム



作成日

6年

12月

2日

法人（事業所）理念		一人ひとりの生きがいを求め、つながり、ささえあい、たくさんの笑顔と、輝きに出会うために						
支援方針		適切なアセスメントの実施とこどもの特性を踏まえ、5領域を含めた総合的な支援を提供することを基本とし、個別支援計画においては5領域とのつながりを明確化したうえで支援を提供する。 (1) 基本的生活習慣の自立を図る：食事・排泄・着脱など1人でできることを増やし、身の回りのことが自分でできる力を育てます。 (2) 心身の諸機能の活動を促す：人との相互関係（見る・聞く・話す）を豊かにする為に、個別・グループ・全体療育を通し身体的・理解力の助長を図ります。 (3) 集団生活の適応能力を育てる：友達への興味・関心を広げ、みんなと楽しく遊ぶ中で、社会性を育てます。 (4) 体力づくり：散歩や戸外遊び、粗大運動を通して基本的運動能力を高めます。						
営業時間		8時	分から	18時	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> こどもの心身の状態の観察と保護者との緊密な連携により、平常とは異なった状態を速やかにみつけ、対応する。 健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身につけられるよう支援する。 食事・排泄・衣類の着脱等、身の回りの事が1人でできるよう、構造化等の環境設定を行いながら、繰り返し支援する。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 粗大運動や微細運動を通し、姿勢の保持やボディイメージの形成、また体力づくりを行う。 遊びを通して、視覚・聴覚・触覚・嗅覚・固有覚・前庭感覚等の感覚を十分に活用できるよう支援する。 過敏や鈍麻の感覚の偏りに対する環境調整を行う。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 個々の認知の特性を踏まえ、情報を適切に処理できるように支援する。こだわりや偏食等にも適切に対応していく。 感覚を十分活用し情報を適切に収集し、行動へとつなげることができるよう支援する。また、様々な概念の形成を図り認知・行動の手がかりとして活用できるよう支援する。 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から行動障害へとつながらないように、適切に対応していく。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 個々の状況に応じて、言葉、表情、身振りなど意思のやりとりが行えるようにする。 話し言葉や文字・記号等を用いて相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えることができるよう支援する。 物と言葉、体験と言葉を結び付けることで、自発的な発声を促したり、体系的な言語を身につけられるよう支援する。 個々に配慮された場面で、相手と同じものに注目し、その行動や意図を理解できるよう支援する。 指さし、身振り、サイン、音声、文字等、コミュニケーション手段を適切に選択し意思の伝達ができるよう支援する。 相手の状況に応じて主体的にコミュニケーションできるよう支援する。 個々の特性に応じ、読み書き支援を行う。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 環境に対する安心感や人に対する安心感・信頼感を育む。不安時や感情の折り合いをつける時等、大人が安心の基地を果たせるよう支援する。 模倣遊びから社会性の芽生えを支援し、感覚・運動遊びからみだて遊び、つもり遊び、ごっこ遊びへと徐々に社会性の発達を支援する。 大人を介して、できることや苦手なことなどを理解し、気持ちや行動の調整ができるよう支援する。 集団活動でのルールや手順を理解し、自ら選んだ遊び等に参加できるよう支援する。集団活動を通じてお互いの存在を認め合いながら仲間づくりができるよう支援する。 						
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 日頃からコミュニケーションを図り、保護者の不安軽減に努めるとともに、相談支援や情報提供を行う。 「ペアレントトレーニング」を実施し、こどもへのより良い関わり方を学ぶ機会を提供し、愛着関係を強化できるよう保護者への支援を一層充実させる。 親の会の活動を実施し保護者同士の交流を図る。 保護者の就労に係る支援として、延長支援を行う。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 地域の保育や教育を享受し、その中で適切な支援が受けられるようにしていく。 保育所等への移行支援 ライフステージの切り替えを見据えた移行準備の支援 保育所等との併用利用している場合における併用先との連携 					
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 障害の有無にかかわらず、安心して共に暮らすことができる社会の実現に向けて、こども施策への協力や連携による入り口支援、児童発達支援の実施、また、保育所や幼稚園等との並行通園を経て、地域の保育・教育の支援が受けられるようにする。 保育所等訪問支援の実施 地域との交流の機会を持つ（地元小学校・民生委員・自衛隊等との交流） 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 療育の質や支援技術力の向上を目的に専門研修への派遣や伝達講習を行い、多様化・複雑化する発達課題に対応できる人材育成に努める。 園内研修（AED救命、感染症対策、BCP訓練、虐待防止等） 園外研修（虐待防止・強度行動障害等） 					
主な行事等	入園式・卒園式・親子遠足・夏祭り・運動会・防災訓練・クリスマス会・お誕生会等 また、各クラスごとに季節の行事を取り入れています。							